商業・交通・都市の発達

ポイント１　商業の発達

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

①　商業の発達

諸産業の発達により商品が増える

交通の整備や貨幣（かへい）の発達により取引が増える

②　商人の成長

株仲間：同業者ごとの組合（=仲間）

営業税・上納金を納める代わりに独占（どくせん）権（=株）を得る

③　金融（きんゆう）業

両替商（りょうがえしょう）：金・銀・銭の交換（こうかん），貸し付けを行う

藩（はん）（大名（だいみょう））や幕府に貸し付けを行う

東日本で金，西日本で銀が主に流通する

資料1　越後屋

④　大商人

江戸（えど）中心の三井（みつい）（越後屋など），大阪中心の鴻池（こうのいけ）

ポイント２　交通の発達

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

①　**五街道**の整備

五街道　：**東海道（とうかいどう）**・**中山道（なかせんどう）**・甲州道中（こうしゅうどうちゅう）・日光（にっこう）道中・奥州（おうしゅう）道中

幕府の直轄，参勤交代や役人などの旅行者に便宜（べんぎ）をはかる

関所　：交通の重要地，武器の移動や大名の妻子の移動など人々を監視

飛脚（ひきゃく）制度：手紙や小荷物を運ぶ

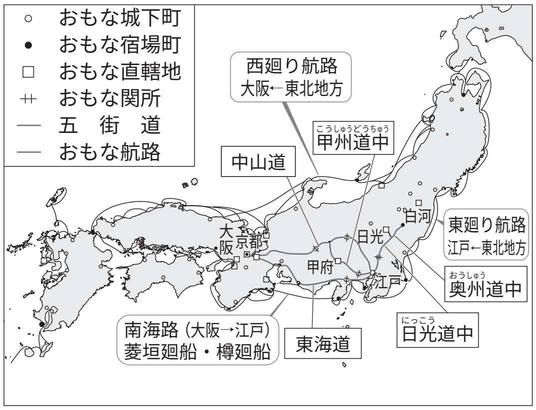
② 海路

東廻り航路（ひがしまわり）：東北や北陸の年貢米（ねんぐ）を江戸に運ぶ

西廻り航路（にし）：東北や北陸の年貢米を大阪に運ぶ（蝦夷地（えぞち）も）

南海路：上方（かみがた）（大阪や京都）でつくられた商品を江戸に運ぶ

資料2 江戸時代の交通路



菱垣廻船（ひがきかいせん）：下り物を運ぶ大型の船
樽（たる）廻船　：酒やしょうゆなどを運ぶ小型の船

資料3 菱垣廻船の出帆

ポイント3 都市の発達

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

① 各地の都市

城下町（じょうかまち）：幕府や大名の城を中心に栄える
宿場町（しゅくば）：街道に置かれた問屋場（といやば）・本陣（ほんじん）などのある場所
港町（みなと）　：重要な港が中心
門前町（もんぜん）：寺社の周辺に人が集まる

② **三都** の繁栄

江戸：政治の中心地　「将軍のおひざもと」
18世紀には100万人を超える都市に

大阪：商業の中心地　「天下の台所」
諸藩（しょはん）の蔵屋敷（くらやしき）が存在

京都：学問・文化の中心地，首都
古代より朝廷（ちょうてい）があり，古い寺院の本山が存在

確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1) 五街道のうち，江戸と日光を結ぶ街道を何というか。　日光道中

(2) 東北や北陸の年貢米を江戸に運ぶ航路を何というか。　東廻り航路

(3) 江戸時代に三都と呼ばれた都市のうち，商業の中心地で「天下の台所」と呼ばれた都市はどこか。　大阪

(4) 営業税などを納める代わりに営業の独占権を得た，同業者ごとの組合を何というか。　株仲間

(5) 金・銀・銭の交換，貸し付けを行う商人を何というか。　両替商